

事業番号	392
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧山文化事業					担当部	教育委員会事務局				
	会計区分	一般会計			事業類型	一般	担当課	文化振興課				
	事業期間	平成17年度			～	平成30年度以降		担当係	文化振興係			
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		20 文化・芸術		2 市の特色を活かした事業を展開する					
		副目的	20-4									
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	3	中	11	
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	小牧山史跡公園の整備と市制50周年を記念して実施した薪能を継続的に開催し、史跡小牧山を広く市内外にPRするとともに、伝統芸能の素晴らしさや楽しみ方を市民に味わっていただくことにより、小牧のシンボルである小牧山を文化の発信拠点とする。										
内容 (手段)	<p>○24年度実施内容 小牧山薪能(薪能開催委託料 7,996千円) 能楽協会名古屋支部の出演による薪能を実施。伝統芸能をより楽しんでいただくための展示・体験コーナーを設置。オープニングセレモニーとして小牧市謡曲連盟や名古屋市立名東高校能楽研究部による仕舞等で盛り上げ、気楽に楽しめる機会を提供。 職員は ①能楽協会名古屋支部との演目・出演者調整を行い、プログラム・番組表を作成する。 ②事前PR活動を行う。 ③舞台・客席の設営手配を行う。 ④出演者等の手配、協力ボランティアへの依頼等、タイムスケジュール管理を行う。 ⑤実行委員会を開催し、イベントとしての市民参画を促進する。 ⑥音声ガイダンスの申込受付を行う。 平成24年度 9月29日 史跡小牧山 約6,500人の観客 お月見まつり(商工観光課)、ランドマークフェスタ2012(青年会議所)と同時開催</p> <p>○25年度実施内容(8,150千円) 24年度と同様に実施するが、小牧山城築城450年記念事業「信長まつり」の一環として開催する。</p>											
受益者負担	有		ラジオガイダンスレンタル料 57台×500円=28,500円									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額	
コスト	費用	直接経費	千円	7,982	7,923	7,996	8,150
	正職員	従事者数	人	0.25	0.25	0.25	0.25
		人件費	千円	1,332	1,332	1,332	1,332
	その他職員	従事者数	人	0.10	0.02	0.02	0.02
		人件費	千円	50	32	34	35
	費用合計		千円	9,364	9,287	9,362	9,517
対前年比		%		99.1	100.8	101.6	
財源	一般財源	千円	9,364	9,260	9,334	9,517	
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	
	その他財源	千円	0	27	28	0	

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	公演回数	回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	来場者数	人	目標	5,000	5,500	6,000	6,500
			実績	5,500	6,000	6,500	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果		事業の達成状況	
	事業実施における課題		来場者がさらに増加し、史跡小牧山を広くPRでき、伝統芸能のよさを伝えることができた。	
	事業を縮小・廃止したときの影響		市外、県外からの来場者も多数あるが、小牧駅から小牧山までの動線がないのが現状である。薪能の認知度をさらに高めるためにも関係団体と連携し、まちを活性化させる方策が必要である。	
	事業を縮小・廃止したときの影響		市制50周年記念として平成17年度から開始した薪能を継続的に開催することは、伝統芸能への理解を深める手段として小牧では欠かせない事業となっており、廃止をすればこれらの機能が果せなくなると考える。	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	小牧山城築城450年に因んで、薪能に出演する小学生を募集して「小牧山と子ども」「伝統芸能と子ども」というようなつながりがもてるように実施する。	
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
	判定理由	毎年、継続事業として定着しており、市内外から好評を得ていることから、内容に変化を持たせるなど充実させ実施したい。		
	26年度以降の改善案	ラジオガイダンスにより、目と耳で初心者向けのわかりやすい解説をして市民が伝統芸能への関心をさらに深められるように工夫するとともに、通訳ボランティアによる配布物の英訳や英語のガイダンスを行い多文化共生を推進する。お月見まつりと同時開催することにより、商工会議所や青年会議所等の外部団体と市の担当部署と連携しながら、小牧の文化を盛り上げていく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。